

新年号

酪農

とちぎ

迎春

八溝山系の新春

明けまして  
おめでとう  
ございます

皆様には家族お揃いで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。酪農とちぎは三年目となりますが、めまぐるしく変化する社会情勢に適応し、皆さんの安定経営、組合の効率的運営をめざして精進して参ります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

元旦



# 新年のあいさつ

代表理事組合長 前田 忠利



平成十五年の輝かしい新年を皆様と共に迎えることが出来ましたことを心よりお慶び申し上げます。

平成十四年十月迄の全国生乳生産量は六年ぶりに前年比一〇・一・三％と増加いたしました。都府県は九九・一％とほぼ前年並みでしたが北海道が一〇四・一％と大巾な伸びを示した事によるものです。栃木県は一〇一・六％と順調な生産となつています。本組合は計画比一〇〇・八％とまずまずの状況であります。一方飲用向け牛乳は一〇二・二％と伸びましたが加工乳が八三・三％と減少したため飲用向け全体では九九・七％と伸び悩みの状況にあります。更には加工乳等の需要量減少により、脱脂

粉乳が七ヶ月分と過剰在庫になっています。更に積増す事のない様対策が必要となります。

本組合も発足して二年目の事業も余すところ三ヶ月となりました。この間地域合理化検討を行い、地域組合員の皆様のご理解をいただき五軒町事業所、県南CS、黒羽事業所等を閉所し、代替りの対応を進め合理化を図りました。又明治乳業の「おいしい牛乳」の販売好調によつて栃木明治の工場処理量が増加した事により送乳コストの減少に繋がりました。一方明治乳業と協調関係を保ちながら市乳製品の卸価格値上げに取組みました。この結果市乳販売量が大幅に落ち込むこととなりました。明治乳業として「おいしい牛乳」の売れ行き好調の中で総合的な対応をして戴くこととなっております。これはいかに市乳販売が難しいかを如実に顕しています。生乳の有利販売が恒常的に対応出来るならば、両事業の取組みについても流動的

な検討も必要かと考えます。この様な情勢の中で年末の財務状況は初年度に比べ良好な成績となっております。これは加工向けの減少が要因の一つに考えられます。この外各事業ともに計画以上の実績を収められる様年度末決算に向け努力して参ります。

平成十四年度の飲用向け生乳の取引価格交渉は「後継者不足による酪農戸数の減少」、「BSE発生の影響で酪農所得の減少」、「家畜排泄物法施行にともなう環境整備による生産費コストアップ」等これらの解決策の一つとして五円以上の値上げ要請を掲げて関東生乳販連が交渉して参りました。メーカーは原資が無い、卸値の改定が出来れば何とかしたいと云う事でした。しかしデフレ経済の中で卸価格の値上げは難しく、メーカー独自の努力と云う事で、八〇銭、五〇銭の値上げに留る結果となりました。十四年度の反省を基に今年から十五年度の卸値改定に向けて取組む事としております。

BSEの患畜が発見された事による不安から牛肉の消費量が激減し酪農副産物の仔牛並びに経産肥育牛価格が暴落となりました。加えて牛肉偽装表示事件も重なり更

に酪農に大きな打撃を与えました。が国、県の施策と対応、関係団体の一致した協力と消費者へのPRに努めた結果一定の理解が得られまして、市場価格も発生以前に回復し生産現場での影響も薄らいできました。四月より死亡牛全頭検査が実施されます。検査体制が充実した中で今後も患畜は発見されるかも知れません。しかし牛肉は安全の認識の下この問題の終息を願うものであります。擬似患畜の見直しについても機会がある毎に要請を続けて参りましたところ、国に於いて国際獣疫事務局に見直し要請を行ったと聞きました。一刻も早い改正を願つて今後も活動して参りたいと存じます。

酪農とちぎは出来たばかりであり、これから歴史を創る訳であります。全国第一の生乳生産量を持つ組合として相応しい運営を求められています。又合併をしたからこそ出来る事も多くあります。先ずこれらに真摯に取組み組合員の負託に心えられる様役職員一体となつて努力して参りたいと存じます。関係機関のご指導と組合員の皆様のご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。



# 年頭のあいさつ

栃木県知事 福田 昭夫



酪農とちぎ農業協同組合の皆様、あけましておめでとございます。御家族と共に、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。さて、二十一世紀の幕開けとほぼ時を同じくして知事に就任して以来、早いもので二年余が経過いたしました。

これまで、県政に新風を吹き込み、二十一世紀にふさわしい県民参加による自主性の高い県政経営を確立すべく、「総合計画」とちぎ二十一世紀プラン」を策定し、積極的にその推進を図るとともに、本県独自の行政評価手法」とちぎ

政策マネジメントシステム」の導入や行政改革大綱に基づく不断の行政改革などを進めて参りました。

特に、昨年は、様々な面で変革が迫られる大変厳しい時代にあつて、県民の皆様と共に大地にしっかりと足をつけ、力を合わせて明るい未来を切り拓いていくためには、何よりも確固とした理念が必要であると確信し、自立と自助、そして互助による幸福の追求である「分度推譲」の理念に基づくとちぎ「づくり、分度推譲県立」を新たに打ち出しました。お蔭様で、多くの県民の皆様のご理解を賜り、確かな手応えを感じることが出来ました。

新年を迎え、私は、こうした県政の新しい流れをより一層確かなものとしていかなければならないと、あらためて思いを強くしたと

ころです。

さて、今年はいよいよ、かねてから策定作業を進めて参りました県政の中長期ビジョン「とちぎ将来構想」を取りまとめ参ります。この構想では、本県の持続的な発展に向けた道筋をしっかりと示すことで県民の皆様にも夢と希望を持つていただけるよう、「分度推譲」を基本理念として、次代の担い手を育む教育や人づくり、人類の生存基盤である自然や環境との共生、生活を支える源となる医療や福祉を含めた産業の活性化など、これからの二十一世紀の栃木県づくり、更には国づくりの方向性を明らかにし、新たな政策づくりにつなげて参る考えです。

そのような中、酪農とちぎ農業協同組合は、組合員の経営安定という確固たる目標を持ち、着々と「とちぎの酪農の将来像」の構築に向かつて歩まれており、設立三年目を迎える本年は、地固めもほぼ終了し、より一層、発展をさせることと大いに期待しております。

県でも、農業・農村振興の具体的施策を明らかにした「首都圏農業推進計画二十一」のもと、酪農家の経営安定を図るため、生産基盤の整備や酪農組織のコスト削減の推進に全力を挙げて取組む所存ですので御理解と御協力をお願いします。

私は、こうした取組を「とちぎから創る二十一世紀の日本」という気概を持って県民の皆様と共に進めていくことが、本県の将来像である「活力と美しさに満ちた郷土」とちぎ」の実現につながっていくものと確信いたしております。あらためて、県民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、平成十五年が酪農とちぎ農業協同組合の皆様にとつて素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



青年部本部部长

## 渡辺 透



あけましておめでとうござい  
す。酪農とちぎになって二度目の  
新年を皆様いかがお迎えでしょ  
うか。昨年は合併後初めての青年部  
の本格的な活動となったわけです  
が、部員の皆様はじめ地域組合員  
等のご協力を得て、有意義な活動  
ができましたことを心より感謝申  
し上げます。

本年も、より一層青年部活動が  
活発になるように役員一同慎重に  
協議を重ねて活動していきたいと  
思いますので、よろしくお願い致  
します。また新事業の希望等があ  
りましたら、役員・担当職員に活  
発な意見を出していただければ幸  
いです。

今年もすでにいくつかの行事が  
予定されておりますので紹介致し  
ます。二月三日県酪農青年女性会  
議発表大会、二月上旬青年部本部  
事業にて講演会、三月二十六、二

十七日、関東甲信越酪農青年婦人  
会議経営発表大会、七月十七、十  
八日、全国酪農青年婦人会議発表  
大会、また組合事業の酪農まつり  
等への参加など計画しております。  
青年部員の方々のご協力ご参加を  
お待ちしております。また、各発  
表大会には女性会の方々のご参加  
も大歓迎ですので、よろしくお願  
い致します。

さて、昨年はBSEやそれに  
伴って起きた牛肉偽装事件、無登  
録農薬の使用等、食の安全が問わ  
れる一年であったかと思えます。  
年の前半は、スモール価格の下落、  
廃用牛の出荷控え、また出荷して  
も値が付かないような状態が続き  
非常に経営が圧迫されましたが、  
年も暮れに近づくに従い、廃用牛  
の値段もBSE発生以前の値段に  
回復基調となり、影響も一段落し  
たようです。

しかし、依然として発症経路が  
特定されている訳ではありません  
ので、まだまだ安心できる状態は  
ありません。一日も早く原因が  
究明され、我々が安心して日々の  
仕事に専念できることを期待して  
おります。

皆様方のご指導ご鞭撻、またご  
協力を得ながら、今年も酪農とち  
ぎ青年部としての形を作ってい  
きたいと思っておりますのでよろしくお願

いたします。皆様、まだまだ寒  
さの厳しい日が続きますがお体を  
大切にされて、消費者の方々にお  
いしく安心して飲める生乳を搾れ  
るようがんばりましょう。

## 女性会本部部长 今 克枝



新年明けましておめでとうござ  
います。皆様にはお健やかに新し  
い年をお迎えのことと存じます。

酪農とちぎ女性会も、組合長を  
始め皆様方の温かいご支援とご指  
導の下、設立されてから一年  
が経過いたしました。会員の皆様  
方のご協力により、何とかその活  
動も形になって来た嬉しく思っ  
ています。

支所、支部単位の活動が主で、  
なかなか一堂に会することが困難  
ではありますが、酪農まつり等の  
各種事業を通して全体的な交流を  
深めていけたらと思っています。  
男女共同参画社会構築という流

れの中で、畜産女性の就労環境問  
題もクローズアップされ検討され  
ています。その検討委員として三  
年間に亘り勉強するチャンスを一  
たいただきました。

現場を知る女性の視点というこ  
とで、諸先生方には、非常に熱心  
に話を聞いていただくことができ  
ました。また真摯な姿勢を感じる  
ことができ嬉しく思いました。

そんなことから、私たち女性こ  
そが、現状に満足したり、あきら  
めたりすることなく常に問題意識  
を持って生活し、生産現場の声を  
発信していくことの重要性を感じ  
ました。

経営者のパートナーとして、わ  
が家の経営を数字で把握し、更に  
経営及び生活の改善、そして発展  
に取り組んでいきたいものです。

それらのことを踏まえて、これ  
は今のところ全くの私案ですが、  
「家族経営協定締結に取り組む」  
を新しい年の女性会のテーマにし  
てはいかがでしょうか。

どうぞ会員の皆様をはじめ、組  
合員の皆様にも広くご意見、ご協力  
またご指導をお願い申し上げます。  
本年も希望を持って頑張れる一  
年でありませう祈りつつごあい  
さつといたします。



# 東西南北

## 那須高原支所

### 女性会那須支部

#### クリスマス会を開催

女性会那須支部は、十二月十二日、ホテルエビナル那須にて、クリスマス会を開催しました。



開催にあたり、女性会らしく演奏会を取り入れたら」との要望に応え、那須町在住のサクソフォン奏者とコントラクトを取った結果、了解が得られクリスマスらしい会が実現されました。奏者の木村義満さんを迎え、七十名と今までに無い参加者があり、コンサートが大盛況のうちに終了することが出来ました。その後木村さんを囲みクリスマス会の会場に移動しプレゼント交換、食事会を行いました。食事会では、近況の酪農に係る情報交換が行われるなど、女性会会員の親睦が図られました。

## 宇都宮支所

### 宇河今市地域酪農組合

#### 親睦会開催

十二月四日、宇都宮市内のボウリング場にて宇河今市地域親善ボウリング大会が二十二名の参加で開催されました。

開催に先立ち組合長の小林幸雄氏より、「デントコーンの収穫も終わり、これから年末年始にかけて何かと忙しい時期となりますが、出荷に際しましては安全で安心出来る生乳生産に努められますよう、また今日は日頃のストレスを解消すると共に皆様の親睦が図れますことを望みます。」と挨拶がありゲーム開始となりました。

参加者の殆どは、久々のボウリングで、昔取った杵柄とはいかず、スベアが取れなかったり、ガーターだったり、ため息やら笑い声やらで盛り上がっていました。心地よい汗を掻いた後昼食会を設け、更に懇親を深めた一日でした。

### 平成十四年度酪農シンポジウム

#### 「高瀬賢治」氏パネラー参加

十二月十二日熊谷市のホテルに於いて、全酪連主催のシンポジウムが開催されました。酪農家、酪農関係者六十



数名が参加しました。前半、「食の安全性について・酪農生産者に期待するもの」と題し、全国消費者団体連絡会前事務局

長、日和佐信子氏の基調講演が行われました。後半は、南那須町の高瀬賢治氏をはじめ、酪農生産者四名（福島県、愛知県）、農水畜産企画課長補佐磯貝保氏、他関係機関の代表者等で、日本酪農の将来を語る」のテーマでフォーラムが行われました。

初めに、生産者パネラーの経営概況や自己の将来を語り、それから日本酪農の将来について意見を交わしました。その中で高瀬氏は、二十余年間の酪農経験と現在就任しているこぶしヶ丘牧場の代表者として、「日本酪農は、従来家族経営と、企業化したメガファームの二極化するのではないが、いづれにしても生産物や経営についての責任は自己範囲内とするのは当然であり、誰も助けてはくれない。」と経営の厳しさを語って、シンポジウムも予定を三十分過ぎて終了となりました。

## 栃木県南支所

### 芳賀地域講演会、河内南部・下都賀地域酪農組合研修会を開催

芳賀地域酪農組合は、十一月六日、上野清組合長他三十五名の参加で「畜産関係補助事業について」と題して講演会を実施しました。全酪購買部生活指導室長代理である辻喜寿氏を講師に招き、事業ごとの内容及び予算等を詳細に分かりやすく説明して頂きました。



活発な質疑が  
出され、補助  
事業の仕組み  
や目的等をよ  
り一層理解で  
き、講演会は  
良い成果をお  
げられました。

河内南部・下都賀地域酪農組合は、十一月十四日、大阿久要組合長他二十三名の参加で、茨城県水戸市の橘牧場と笹沼牧場を訪問し、現在一番の関心事である、糞尿処理施設及び処理体系を熱心に視察しました。民家や運動公園などが隣接する環境の中、安価な糞尿処理施設を効率的に利用しているのが印象的でした。

また行き帰りの車中では歓談に興じ、組合員相互の親睦が図られました。



# 部課だより

## 生乳販売部

十一月の生乳の販売状況は、関東生乳販連における加工発生率が一・五%（前年比二五・九%）と大幅に減少しております。例年であれば加工比率が五〜八%となる時期にもかかわらず飲用向けが堅調なことから、都府県の生産が伸び悩んでいることから、夏場の需要期並みの需給逼迫という状況にあります。

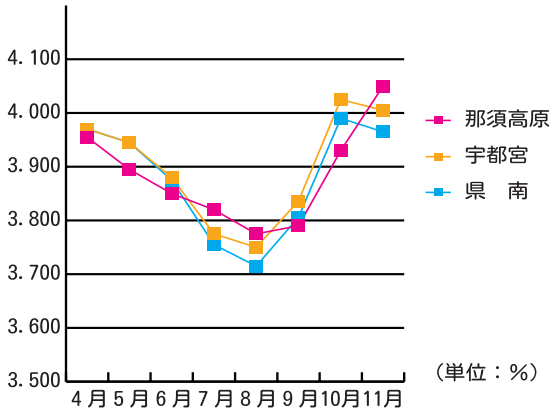
本組合の生産乳量は十一月についても前月同様の減少傾向となっております。全体では前年比九八・八%となっております。支所別で見ると那須高原支所は九九%、宇都宮支所は九五%、県南支所は一〇一%と県南支所については比較的堅調であるが宇都宮支所については前年を五%減と大幅に下回っております。この生産傾向は暫く続くものと懸念されるおります。

一方、乳質は十月において成分的乳質・衛生的乳質とも改善されましたが、十一月に入り那須高原支所においては脂肪率・無脂乳固形分率・細胞数とも改善しているものの、残念ながら宇都宮支所、

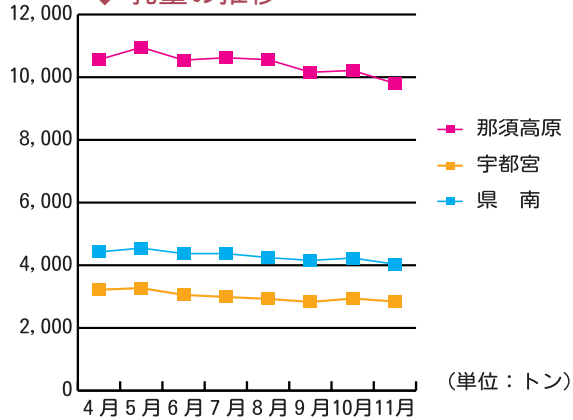
県南支所ともに脂肪率・細胞数において若干低下しております。今後も乳牛の飼養管理に努め乳成分及び衛生的乳質の改

善にご努力をお願い致します。十一月までの乳量及び乳質成績の推移は左記のとおりです。

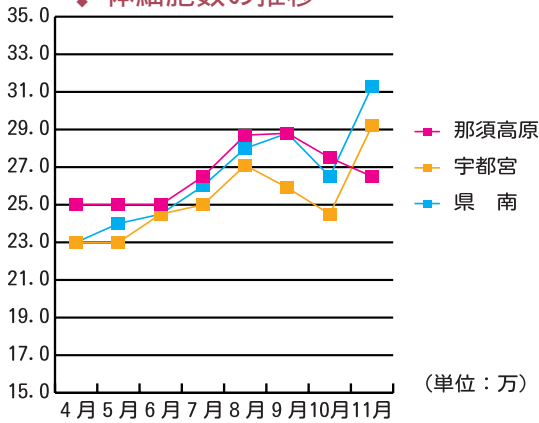
❖ 脂肪率の推移



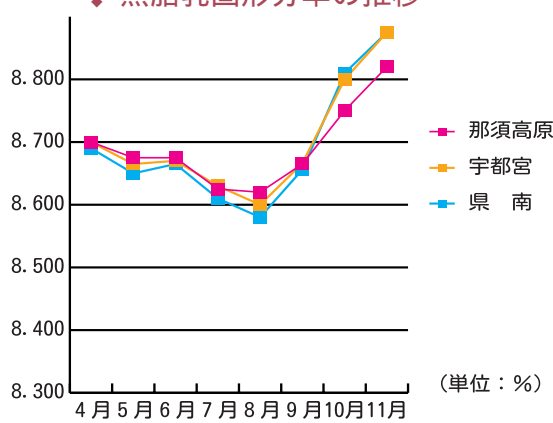
❖ 乳量の推移



❖ 体細胞数の推移



❖ 無脂乳固形分率の推移



## 市乳販売部

近年では、元旦よりデパート・スーパーなどが休まず営業するのがあまり珍しくない時代になりました。当組合の牛乳も数多く店頭に並び、お客様に愛飲され続けており、その対応が必要となっております。

一回目となる製品紹介シリーズは「南那須牛乳」を紹介したいと思えます。この牛乳は、(株)ライフ・コーポレーションで、関東一円の約九十店舗で販売されています。大阪に本社があり、関東・関西合わせて現在百九十店舗を誇る食品販売では最大級の大型スーパーです。

現在、プライベートブランド(ライフのみで販売)パッケージの牛乳は、ESL製法(おいしさ長持ち)で製造され、月間約三十〜四十万本の出荷数を誇る大変人気のある牛乳です。夏の暑い時は月間で四十五万本以上も出荷します。

現在も次々と新店舗をオープンさせているスーパーなので、今後も今まで以上に販売して頂けるように努めて参ります。



# 酪農部

## 関東甲信越酪農青年婦人会議 研修会開催

去る十一月二十七日～二十八日、茨城県笠間市において、平成十四年度関東甲信越酪農青年婦人会議研修会が開催されました。関東甲信越各地より大勢の酪農家や関係者が集まり、栃木・千葉・埼玉・長野・茨城の各県代表者五名の発表が行われました。



発表する大島知子さん

増す中、地域との共存を視点に入れて経営を行う等、各

栃木県代表として、当組合より芳賀町の大島知子氏が「ふれあいで育む酪農の夢」と題し、家族と共に歩んできた酪農経営や、アグリビジネスとしてアイスクリーム店に取り組んでいること、さらなる夢についての発表を行いました。食に対する人々の関心が高まり、消費者と生産者の交流の重要性が

発表者とも酪農に対する真摯な思いが感じられる発表会でした。

## 『第六回全日本B&Wショウ』



去る十一月十四日、静岡県経済連袋井常設市場にて、第六回全日本B&Wショウが開催されました。栃木県

からは、十三頭（酪農とちぎより十頭）が出品され、審査は荒木敏彦氏によって行われました。

審査の結果、グランドチャンピオンには、未經産の部に北海道の(有)田中牧場出品の(父)ダーラム(第五部)、経産の部では山形県の深瀬幸二さん出品の(父)チャールズ(第十二部)が輝きました。組合からは、石川正勝さん出品のフリーフライトチャールズプログレスマライアが三歳ジュニアクラスで優等賞二席に上位入賞しました。おめでとうございました。

## 第6回全日本B&Wショウ出品牛受賞一覧(栃木県関係)

出品区分	賞	審査番号	名号	出品者住所氏名
未經産	第1部 2等賞	114	オークス ラデック エクスプローラ ET	那須町 太田賢治
	第3部	304	タクヨウ レイダー エンコア	西那須野町 那須拓陽高校
		312	KZMR ロング サウンド ダーラム	市貝町 梶村健介
経産	第8部 優等賞2席	806	スノーライト プリンセス ウィニー コラ	黒磯市 真嶋大輔(栃酪)
		824	コバウ ウィルヘルミナ F サブリナ	黒磯市 小針勤
		810	スノーライト プリンセス ジェット コラ ET	塩原町 和田泰
	第9部 リザーブ	912	プラントツリー ヒンベル マット チャーリー	今市市 植木直(栃酪)
		906	フリーフライト チャールズ プログレス マライア	那須町 石川正勝
		907	EM サンライズ コムスター プリリー	南那須町 松山嘉男
	第11部 優等賞2席	1109	アルビナ フォーメーション リプロン ET	今市市 エスベランサホルスタインオーナーズクラス(栃酪)
		1104	グリーン ウィンチェスター ブルーネット ET	那須町 衛ウエルシーファーム
		1108	タクヨウ マダム レイダー	西那須野町 那須拓陽高校
第12部 1等賞5席 ベストプロダクション	1214	キイチ ジュラー ファースト ジャベラー	南那須町 菊池善也	

## 12月ホクレン初妊牛市場成績

(単位: 頭, 千円(税込))

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~300					501以上
				~300	301~350	351~400	401~450	451~500	
豊富	12月5日	521	426	13	34	104	191	156	23
釧路	12月11日	276	427	9	29	45	78	91	24
根室	12月12日	453	462	0	9	49	116	169	110
十勝	12/16-17	730	438	24	37	112	229	233	95
北見	12月18日	362	435	0	21	62	142	103	34
合計		2,342	438	46	130	372	756	752	286
前月		3,093	438	37	152	488	1,082	998	336
前年同月		2,062	414	45	158	561	809	410	79

## 家畜市場成績

市場名: 西那須野市場

単位: 円

開催期日	12月15日				
種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
ホルス雄	131	-	80,850	9,450	50,801
F1雄	94	-	181,650	76,650	135,830
F1雌	82	-	134,400	46,200	88,264

市場名: 館林市場(群馬)

単位: 円

開催期日	12月17日				
種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
ホルス雄	16	69	60,000	5,000	41,813
F1雄	20	67	177,000	79,000	137,800
F1雌	28	65	135,000	55,000	100,322



# 十一月度理事会

## 報告事項

- (一) 上半期監査報告について
  - (二) 組合員加入について
  - (三) 農業近代化資金貸付について
  - (四) 総代選挙結果について
- 協議事項
- (一) 十月度事業実績について
  - (二) 牛乳輸送施設リース契約に

## 春夏秋冬



昨年は、一昨年ほどの大事件は無かったが、依然として続く不況は庶民の幸福感を一層遠いものにしていくようです。

さてこの一年間に栃木県内で起きた出来事を拾い出してみました、皆様の身の回りではいかがでしたでしょうか。

一月 宇都宮市二荒山神社で三日深夜、初詣の最中に出火、山門の一部や回廊・札所などが焼けた。  
 二月 足利銀行が財務体制の強化を図るため、県・市町村等にも出資をもとめ増資を行った。  
 真岡市の菊地前市長・栃本県議が増収賄の疑いで逮捕された。

ついて  
 (三) 年末手当支給について

## おしらせ

### 『廃用牛流通緊急推進事業』

十五年一月末で終了決定さる

農水省は、酪農生産現場で滞留する廃用牛の出荷を円滑化する目的で行ってきた『廃用牛流通緊急推進事業』を、「当初の予定通り一月三十一日と畜分を持って事業を打ち切る」と発表されました。

三月 宇都宮の宝石店ジュエリー

ツツミでの強盗放火殺人事件の被告に死刑判決が出される。

五月 渋井陽子選手(那須拓陽高校出)は女子一万メートル競技

で日本新記録更新した。

七月 西那須野町に建設予定となっていた医療廃棄物処理施設

は不法投棄等が原因で県医師会

は建設を断念した。

八月 〇 157による食中毒が

発生、宇都宮病院・老人保健施設において死者九人患者百二十

三人を出した。

ダイホルタンなどが県内にも

流通し、無登録農薬問題で果実生産農家などが打撃を被った。  
 九月 ジャズ ミュージシヤンのナベサダこと渡辺貞夫さんの兄が刀剣類を狙った犯行に遭い殺害される。

故に、と畜並びに販売につきましては一月末日完了にてお願い致します。

### 全日本ホルスタイン共進会

#### 実行委員会設立総会開催

十二月十六日、全日本ホルスタイン共進会栃木大会の実行委員会設立総会が開かれました。実行委員の会長に福田昭夫知事が選ばれ、大会の概要、大会方針などが審議されました。

十月 JA那須野の元女性職員が

巨額詐欺で逮捕される。

十一月 足利競馬が本年度末を最後に

後に廃止することとなった。

今年の初めに宇都宮競馬の一部を主催する宇都宮市が撤退を

決めており競馬界を象徴する出来事

が近づいた。

十二月 八日の深夜から降り始めた

雪は宇都宮で十七センチの積雪となり

観測史上初の師走の大

雪となった。

どこの家庭でも新たな年に期待することは山ほどあることでしょう、新年の霊験あらたかな気持ちで神前に手を合わせ願ひ事をする。日本の良き風習、年に一度のこと、今年はお賽銭をフンパツして見てはいかがでしょう、願い事が叶うことを期待して。

## 編集後記

新年明けまして

おめでとうございます！

昨年は本当にありがとうございました。お陰様で機関誌『酪農とちぎ』も二度目のお正月を迎えることができました。これもひとえに皆様のおかげと心より感謝申し上げます。新年を迎え

気持ち新たに、よりよい機関誌を目指し日々取り組んで行きますので、今年もよろしく願ひします。

新しい年が皆様にとつて素晴らしく幸せな一年であります様心よりお祈り申し上げます。

センター試験が間近です。

全国受験生は正月返上で一念発起していること

でしょう。当時私も「大学に

受かってしまえば遊べるはずだ」と勝手に思い込み、

それを励みにがんばった

のですが、今のご時世、就職を考えると遊んでばかり

もいられないようです。入

試も入社試験も受験は一発勝負、それでいて水物。悔いの残らぬようがんばれ受験生！

(W)

(A)

